

研究課題名：

SARS-CoV-2 に対する抗体保有者における血清抗体の性状解析

研究の目的と方法：

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 感染による新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の予防には、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質に対する抗体が重要であることが知られています。日本においては 2021 年 2 月以降、新型コロナワクチンの接種が広く普及しており、多くの方が複数回のワクチンを接種されています。しかしながら、オミクロン株の出現以来、感染者数は急増しており、感染とワクチン接種の複雑な組み合わせにより、日本人集団における SARS-CoV-2 に対する免疫が多様化してきていると考えられています。よって、SARS-CoV-2 に対する感染防御免疫を理解するためには、ワクチンや感染などの履歴の違いによる免疫を評価する必要があります。

そこで、本研究では、令和 3 年度に厚生労働省／国立感染症研究所が実施した新型コロナウイルス感染症に対する抗体保有状況の調査において SARS-CoV-2 に対する抗体を保有することが判明した方の血清の余りを用いて、感染歴やワクチン接種歴の違いによる血清抗体の抗ウイルス活性の変化を評価し、SARS-CoV-2 に対する感染防御免疫を理解することを目指します。

本研究の結果は、新型コロナウイルス感染症の予防や治療に非常に有用な知見をもたらす、社会的意義は非常に大きいと考えられます。なお、本研究では個人を特定する情報は使用しません。研究の成果は学会や学術誌にて発表します。その際にも、対象者のお名前など個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。

研究の対象者及び対象期間：

2021 年 12 月から 2022 年 2 月までに実施された「新型コロナウイルス感染症に対する抗体保有率調査」に参加された方

* 全ての方の検体と情報を使用するわけではなく、年齢、性別、ワクチン接種歴、新型コロナウイルス感染症診断歴等に基づいて 200 名程度の方を選抜します。感染研では個人を特定する情報は保有しておりませんので、検体から個人を特定することはできません。

研究期間：

2022 年 7 月 20 日 (承認日) ~2025 年 3 月 31 日

研究に用いる試料・情報：

「新型コロナウイルス感染症に対する抗体保有率調査」の調査票でお答えいただいた情報 (個人を特定できる情報を含んでいません) と血液検体の残余

研究組織：

国立感染症研究所

研究代表者：感染病理部 部長 鈴木 忠樹

お問い合わせ先：

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1
国立感染症研究所
鈴木 忠樹 (研究代表者)
TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1189